



そよげわか竹

～信濃町に誇りを持ち、次代を担う人材の育成～ 義務教育学校 信濃町立信濃小中学校 〒389-1313 長野県上水内郡信濃町古間 491 Tel026-255-2373

～力戦奮闘～ がんばれ信濃小中！！ ☆中体連特集☆

いよいよ、地区大会を皮切りに中体連主催の夏季大会が始まります。運動部に所属している皆さんは、高揚感に満ち、その時を待っていることでしょう。特に9年生に皆さんは、部活動で培ってきたものを全てを発揮し、悔いを残さないようにしてもらいたいと思います。オリンピックや世界選手権のノルディック複合スキーで何個もの金メダルを獲得し、「キング・オブ・スキー」と世界中から讃えられたレジェンドである荻原健司さんは、講演会で『成績<上達・進歩・努力』という思いで、今は後進の指導にあたってと話されました。結果よりも、日常的に努力し、積み上げてきた技術や精神力が大事であるということです。勝ち負けも大事ですが、自分自身の上達・進歩した姿をしっかりと確かめてきてください。健闘を祈ります！！

野球部

9年生最後の大会なので今まで積み上げてきたことを全力プレーで発揮し、野球ができることに感謝して、県大会への切符をつかむ！

- ①6月 19日 (北信地区予選会)
- ②中野市営球場
- ③一人一人自分のベストをつくるために日々努力を重ねてきました。目標の県大会出場を全員がめざしています。
- ④「ちょっとずつでいいから一人ひとりが仲間の力になる」「たくさんの人に応援してもらえるチームになる」と言うことを大切にしてきたチームです。それがしっかり実現できれば、自然と目標は達成できていると思います。それだけの力を持ったチームです。精一杯闘ってきます。



男子バレー部

一球、一球に集中して、つないで一戦、一戦を勝ちにいく！



- ①6月 11日・12日 (長野市・上水内大会)
- ②11日 (篠ノ井東中学校) 12日 (篠ノ井西中学校)
- ③バレーボールは球を仲間とつないで落とさないようにするスポーツなので、レシーブを本番に向けて頑張ってきました。
- ④「この一球は無二の一球なり」のもと、一球一球に魂を込めて、全員でつないで、最後まで戦います。

女子バレー部

最後まであきらめず、一球、一球を大事にする！！



- ①6月 11日・12日 (長野市・上水内大会)
- ②11日 (長野北部中学校) 12日 (裾花中学校)
- ③ *相手に連続で点を取られても声を出して盛り上げる。
*練習の時から声を出す。
*真ん中のスパイクカットで、前、後ろクロスで、ちゃんとコミュニケーションをとって落ちないように。
- ④「心・技・体」今までの練習は決してうそをつきません。自分をそして仲間を信じて最高のプレーで勝ち上がろう！

テニス部 男子・女子

めざせ!
県大会出場!

- ①6月11日・12日(北信濃大会:個人戦)
- ②須坂臥竜公園(女子)
小布施テニスコート(男子)
- ③とにかくテニスが好きな人が多いのが特徴で、休みの日も自主的に練習をしている姿があります。声を出し、気持ちを一つにして練習に取り組んできました。
- ④大会の雰囲気にもまれず、実力を100%出せることを信じています。



サッカー部

Enjoy!そして1勝!



- ①6月11日・12日(北信濃大会) ②中野市多目的サッカー場
- ③心は熱く、頭は冷静に!!
- ④どのチームと当たろうとも、どんなことが起ころうとも、揺らぐことのない熱い気持ちで試合に臨もう!

男子バスケット部

一勝する!!



- ①6月11日・12日(北信濃大会) ②飯山市民体育館
- ③チーム全員が練習に対して、それぞれの課題をもち、集中して取り組む。
- ④ひたむきにがんばります。

水泳部

ベストを出して、上位に入りたい!



- ①6月23日(北信中学水泳大会) ②アクアウイング
- ③練習を休まず、真剣に取り組むことができた。
- ④練習の経過を十分に発揮し、自己ベストを目指して頑張れ!!
健闘を祈ります。

剣道部

団体、個人とも北信大会の壁を突破したいです!!



- ①6月11日・12日(北信濃大会:個人戦・団体戦)②トピアホール(飯山市)
- ③「意気軒昂」の精神をモットーに日々稽古に励んでいます。「声を出すこと」「自分で考えて剣道をする」を心がけ大会に向けて頑張ってきました。
- ④声を出せばそこに気持ちがついてくる。気持ちが充実すれば、そこに体がついてくる。気剣体一致の剣道を目指して奮い立て!!

勝敗のかかった場面や自分の思い通りにいかない場面に遭遇したとき、緊張したり、頭が真っ白になったりすると聞くことがある。緊張している場面では、私は常に選手に「声を出す」ことの再確認と指示をしてきた。「声を出す」ことに好不調はない。「こっちだ〜」「マーク、チェンジ!」「がんばろう」等の仲間との関わりの声を出すと、頭が真っ白になるようなことは決してない。だから、常に自分から声を出す選手は一番で力を発揮できる選手であった。

個人種目の場合も、同じ部活の仲間であるので「団体戦」という意識が大事である。自分のために、仲間のために、自分たちのために、応援してくれる学校の友のために、そして、今まで支えていただいた家族のために、精一杯声を出して戦ってきてほしい。